

大念佛

No.55

発行／融通念佛宗総本山
大念佛寺
大阪市平野区平野上町1-7-26
TEL 06-6791-0026



お盆に寄せて

先祖供養のこころ

融通念佛宗務總長 吉村暲英



「片袖縁起絵巻」より亡女と巡礼の場面

お盆が近づいてきました。亡き人の靈を迎える準備で、そぞろ郷愁をそそられるのもこの時節です。この時期になると、寺々では施餓鬼や盆供養の法要が勤まります。そして各地で盆踊り、万燈会、送り火などの行事が盛んに行われます。怪談噺で幽靈や化け物が活躍するのもこの季節です。

それらの行事はいまでは煙草を主とした催し物としての性格が強くなり、中には夏の風物詩として広く世間にしられているものも少なくありません。しかし元来、それは亡き人と生存者との共存の中において行われたものであることを知る必要があります。

りの中において生きているということ、つまり生者と死者とのあたたかい交流の中に日々の生活があることを知るのです。その交流を確かめ合う場が、お盆にまつわる様々な行事であつたのです。ここに現代の日本人が忘れている大事な宗教的意義があります。今、私たちの社会は生きる者の欲望うずまく社会です。そしてこれを“文明”とか“高度経済社会”とかいって、あたかも欲望を追い求めることが美徳のように思われています。そのことが未来にどれだけの禍根を残すかを考えることなく、傲慢な生き方をしているのです。

仏教では過去・現在・未来の三世にわたる人生観を説きます。今のは過去の諸々の縁なくしてありえなし、未来永劫に影響力を及ぼすこと——別の言い方をすれば、永遠の生命の連鎖の中にいただいた生命であるという自覚を大切にします。

世にわたる人生觀を説きます。今の自分は過去の諸々の縁なくしてはありえないし、未來永劫に影響力を及ぼすこと——別の言い方をすれば、永遠の生命の連鎖の中にいたいたい生命であるという自覚を大切にします。

心の闇に光を

A collection of various patches and insignia, including circular and diamond-shaped designs, some featuring animals like deer or eagles, and others with abstract patterns.

亡女の片袖と香盒

開宗900年記念 大法要 大通上人300回御遠忌

平成27年5月1日～5月7日

亡女の片袖

大念佛寺に伝わる「亡女の片袖」の話をご紹介しましょう。

した。松太夫の喜び限りなく片袖と香盒は信心の証しに大念佛寺に預けられました。

私たちがまごころを込めて先祖供養をなし、回向を手向けることによつて、亡き人とあたたかい交流ができる、ともに心の闇路を照らしていただき、幸せの道を歩ませてもらうことができるのです。

広げよう融通念佛の輪 「信仰へのいざない」を終えて

(融通念佛宗第八教区教化活動実行委員会)

のご協力を頂きましたこと
厚くお礼申し上げます。

教化活動も
平成十六年に
第一教区から
始まり今年で
六年目となり
ます。当教区
も初めは何を
すればいいか
分からず先ず
実行委員会を
設け、今年六
月初めまで何
回となく協議
を重ね、委員
の皆様の協力
で次第に内容
が充実してま
いました。

第一回では、
宗務総長吉村
暉英師から融
通念佛宗の歴
史及び流れを
詳しく説明し
て頂き、参加
者の皆様方か
ら絶賛の感動を得ました。

第二部は「浄土の祈り」で、毎
年五月一日よりの万部法要と同じ
菩薩の伝供式が、菩薩役・講師・
樂役・座奉行の皆様により厳得さ
れる超満員で開催することができます。
また郡山城ホールを会場とし、六
月二十二日(月)に開催いたしま
したところ、大ホールは千人を超
えた。総本山並びに融通念佛宗
諸役の皆様方をはじめ、多くの方々
ました。総本山並びに融通念佛宗
寺第六十六世倍巣良舜管長猊下が

「表白」の祈り

計結果から見れば二十二日は毎年
雨の日が多いそうです。しかし今
年は朝早く降りましたが、日中か
ら夕方まで良い天候に恵まれ、教
化活動発表会に参加いただいた全
ての皆様方の、ご精進のたまもの
と感謝いたします。これからもこ
の教化活動が盛大に意義のあるも
のとなりますよう念願いたします。

六月は梅雨の時期で、長年の統
計結果から見れば二十二日は毎年
雨の日が多いそうです。しかし今
年は朝早く降りましたが、日中か
ら夕方まで良い天候に恵まれ、教
化活動発表会に参加いただいた全
ての皆様方の、ご精進のたまもの
と感謝いたします。これからもこ
の教化活動が盛大に意義のあるも
のとなりますよう念願いたします。

（川上玄有師発表資料より）

誕生偈

「天上天下唯我獨尊 今茲而往
生分已盡」（『大唐西域記 玄奘』）

この大宇宙で、唯一我々人間だけ
にできる尊い使命がある。今こ
とに生まれてきたが、これが迷い
の世界の生であり、ふたたび迷界
に流転しない。

吾當安之（『修行本起經』）
三界の迷界にある衆生はすべて
苦に悩んでいます。私はこの苦の衆
生を安んずるために誕生したから
尊いのであると言う。

釈尊のご生涯

（川上玄有師発表資料より）

今から二千五百年前に生まれられ
たお釈迦様の誕生をお祝いしよ
うではありませんか！

して、本堂に入り普段は入れない
内陣を通させていただき、大変あ
りがたく感じました。

参加させていただくまでは、普
段は見ることのできない子どもの
姿を見るのが楽しみでしたが、万
部法要はそれ以上のことを感じさ
せて頂ける伝統ある大きな法要で
あると改めて思いました。

子供たちには心豊かな人になつ
てほしいという願いも込め、ます
はこんなことも経験が大切と考え、
稚児行列に参加させていただきま
したが、この体験を通じて敬いの心、
信じる心、手を合わせる心を感じ
取ってくれればと思います。三歳
の息子にとっても大変貴重な経験
になったと思います。ありがとうございました。



菩薩の伝供



「表白」の祈り

平野区仏教会

大融寺住職 篠塚 良彰

四月は、お釈迦様の誕生日をお
祝いし、全国各地で花まつり行事
が開催されました。

平野区仏教会（大念佛寺も含み
二十八ヶ寺）では、今年四月十一
日に大念佛寺瑞祥閣をおかりして
「子供花まつり」を盛大に行うこ
とができました。しかし、恥ずか

しの御導師を勤められ、皆様方の暮ら
しの無事と、生きとし生けるもの
への幸せを願う「表白」の祈りと
「お十念」をお受け頂きました。

第三部では「家族の中での信
仰」というテーマで、宗教評論家
のひろさちや先生のご講演を拝聴
しました。信仰の原点に立ち返り、
これからの暮らしの日々に活かさ
れる有意義なお話しさで、時間の経
つのも判らぬほどでした。

六月は梅雨の時期で、長年の統
計結果から見れば二十二日は毎年
雨の日が多いそうです。しかし今
年は朝早く降りましたが、日中か
ら夕方まで良い天候に恵まれ、教
化活動発表会に参加いただいた全
ての皆様方の、ご精進のたまもの
と感謝いたします。これからもこ
の教化活動が盛大に意義のあるも
のとなりますよう念願いたします。



万部法要

稚児行列に参加させていただいて

倍巣
友圭里



菩薩様と記念撮影

はじめに、菩薩様との記念撮影
をしていただきました。

間近で見せて頂く菩薩様に息子
はびっくりした様子でちょっと恐
かったのですが、菩薩様はやさ
しく頭をなでて怖がらせないよう
に努めて下さいました。

稚児行列では、子供は普段は着
られない特別な衣装を身につけ、



